

<b>授業科目</b> 社会福祉学特論Ⅳ	<b>科目概要・形式</b> 2 単位 30 時間(15 コマ) 演習	<b>配当年次</b> 博士前期 2 年次 後期開講	<b>オンライン参加</b> <input type="checkbox"/> 可・不可
<b>科目責任者</b>	工藤 英明		
<b>担当者</b>	工藤 英明、児玉 寛子、瀧澤 透、高阪 悌雄、坂下 智恵、権 順浩、 田中 尚樹、小山 幸		
<b>1. 科目のねらい・目標</b>			
<p>この科目のねらいは、特別・課題研究や学会報告のまとめ方やプレゼンテーション方法を理解し、実践することである。目標は、社会福祉学特論Ⅰ～Ⅲを含め、これまで取り組んできた特別・課題研究をまとめ、その成果を学会報告や地域社会への還元することである。</p> <p>そのための具体的な目標は、次のようである。①研究成果を目的・方法・結果・考察に沿って整理できる。②学会報告や地域還元を意識した資料作成ができる。③効果的なプレゼンテーション技法を習得し、発表に活用できる。④学会報告または地域発表に向けた発表原稿・スライドを完成させる。</p>			
<b>2. 授業計画・内容</b>			
<p>第1回 オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科目の目的・進め方を説明する。受講者各自の研究テーマやこれまでの課題研究の進捗を簡単に発表し、今後の発表形式（学会報告・地域発表）の希望を確認する。</li> </ul> <p>第2回 研究成果の整理方法（目的・方法・結果・考察）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論文や学会報告の基本構成を解説し、各自の研究成果をこの枠組みに沿って整理するワークを行う。教員と学生同士でフィードバックを実施する。</li> </ul> <p>第3回 学会報告の構造と特徴の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学会発表の事例を紹介し、制限時間内で効果的に伝える構成（導入・方法・結果・考察・まとめ）を分析する。各自のテーマに沿って「発表ストーリー」を作成する演習を行う。</li> </ul> <p>第4回 地域還元型発表の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門外の人に伝えるための言葉の工夫や資料表現を学ぶ。過去の地域向け発表資料を参照しながら、研究成果を「わかりやすく」「実務につながる形」で表現する練習を行う。</li> <li>・課題：学科発表要旨案を作成する。</li> </ul> <p>第5回 発表資料作成①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学会要旨の書き方や配布資料の構成（研究概要、図表、課題提起）を確認し、各自の要旨案を発表し、相互に修正点についてディスカッション、フィードバックを行う。</li> <li>・課題：ディスカッション、フィードバック内容をふまえて、要旨案の加筆修正、PPT 資料を作成する。</li> </ul> <p>第6回 発表資料作成②（スライドの基礎）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成した PPT 資料を発表し、PPT 資料作成の基本原則（シンプルな表現、文字量の制限、図表の効果的使用）、デザイン・内容面での改善案についてディスカッション、フィードバックを行う。</li> <li>・課題：ディスカッション、フィードバック内容をふまえて、PPT 資料を加筆修正する。</li> </ul> <p>第7回 発表資料作成③（スライドの応用）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自のスライドを持ち寄り、ペアまたはグループでプレゼン演習を行う。聴き手の理解度や印象をフィードバックし合い、スライドを改善する。</li> </ul> <p>第8回 プレゼンテーション技法①（話し方と表現）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発声・抑揚・視線の使い方を練習する。実際に1～2分間で自己紹介や研究概要を発表し、録画・再生を通じて話し方の改善点を確認、ディスカッション、フィードバックを行う。</li> </ul> <p>第9回 プレゼンテーション技法②（質疑応答への対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・想定質問をグループで出し合い、回答を準備する演習を行う。想定外の質問に対応するための「切り返し方」や補足説明の工夫についてディスカッション、フィードバックを行う。</li> </ul> <p>第10回 リハーサル①（学会報告形式）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制限時間（例：10分）で模擬発表を行い、時間配分・内容・説明のわかりやすさについてフィードバックをする。</li> </ul>			

#### 第11回 リハーサル②（地域発表形式）

・一般市民や実務者を対象と想定し、専門用語を控えた発表を行う。聴き手役から「理解できた点・難しかった点」を共有して改善点についてディスカッション、フィードバックを行う。

#### 第12回 発表資料の完成

・要旨・配布資料・スライド・発表原稿を最終調整する時間とし、教員による個別指導を行う。

#### 第13回 最終発表会①

・受講者の半数が学会報告形式または地域発表形式で発表を行う。質疑応答を通じて実践的な発表スキルを磨く。

#### 第14回 最終発表会②

・残りの受講者が発表を行う。聴講者は質問・コメントを積極的に行い、相互評価を実施する。

#### 第15回 総括と今後の課題整理

・授業全体を振り返り、学会報告や地域社会への成果発表に向けた最終的な課題を整理する。各自の次のステップ（実際の学会・地域発表予定）を確認する。

### 3. 教科書、参考書

指定の教科書は設けず、各科目担当者が随時必要な文献を指示する。

### 4. 成績評価方法

- ・研究計画書（30%）
- ・倫理審査申請書（40%）
- ・授業内演習・発表（30%）

### 5. 受講要件

- ・社会福祉学特論Ⅰ～Ⅲおよび特別・課題研究を履修または同等の研究経験を有することが望ましい。
- ・社会福祉士の資格を有する者は、認定社会福祉士制度のその他科目研修（論文指導系科目群）8単位のうち、2単位となる。
- ・認定社会福祉士制度のその他科目研修（論文指導系科目群）8単位を履修するためには、社会福祉学特論Ⅰ～Ⅳのすべての科目を履修しなければならない。

### 6. 社会人学生に対する配慮

受講者と相談した上で、夜間開講、土日開講、夏季集中講義などを検討する。詳細については指導担当教員の指示に従ってください。・オンデマンドは不可とします。

### 7. その他

- ・本科目は、特別研究または課題研究の指導担当教員が担当する科目です。詳細については指導担当教員の指示に従ってください。・オンデマンドは不可とします。
- ・研究成果は「作る」だけでなく「伝える」ことによって初めて社会に影響を与えます。本科目では、論理的かつ魅力的に発表するための実践的スキルを身につけ、学会・地域・現場での発信力を高めましょう。